

発行所
カトリック福江教会
広報委員会
五島市末広町3-6
☎0959(72)3957
●ホームページ●
<http://fukuechurch.jimdo.com>

新しい年に

主任司祭 中村 満

新年おめでとうございます。月が替わって遅きに失した挨拶ですが、小教区報は新年号になりますので、皆様方にとって今年が良き年であり、ますようにと祈念いたします。

年明け早々の一月十七日には下五島地区合同堅信式が行われ、二〇名の受堅者が誕生しました。受堅者の少なさに少々驚きましたが、彼らが聖霊の息吹に満たされ、福音の証人、未来の教会の担い手になってくれることを心から希望しています。

さて、年頭に当たって、特に今年はずでに始まっています。いつくしみの特別聖年に取り組まなければならぬと思っております。福江教会は聖年の間、いつくしみの扉が置かれた巡礼指定教会になっています。教皇様は、指定された教会に巡礼し、

扉を通り、御父のいつくしみを受けようとして勧められます。人は本来、旅人、巡礼者であり、御父のものを目指して旅をしていきます。その御父のいつくしみに触れ、いつくしみに満たされ、いつくしみのわざを日々の生活の中で実践するようにと励まされています。

聖年はレビ記25章10節に記されているヨベルの年に由来します。五〇年ごとに祝われていましたが、現代のような免償を伴う聖年は一三〇〇年から始まったと言われています。その後、百年ごとでしたが、年数が開きすぎ一生に一度も祝うことができない人もあり、現在では通常二五年ごとに行うようになっていました。また、教皇の特別な意向があつて聖年を定めることがあり、今回は第二バチカン公会議閉幕五〇周年を記念して行うことになりました。公会議によって刷新された教会がより以上に現代世界の必要に応えることがで

きるようにと願ってのことです。聖年のモットーは「あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深い者となりなさい」(ルカ6, 36)です。この期間を通して、神のいつくしみを体験する機会を設け、いつくしみを受け、いつくしみを生きるようにと諭されています。

「挑戦」の年

助任司祭 小島 明

今年二〇一六年がスタートしてから二か月目に入りました。今年は「申年」で、いろいろな言葉になぞらえて、目標を建てられた方がいるのではないのでしょうか。皆様にとって、よい一年であるようにお祈りいたします。

さて、わたしはというと、少しずつ前進できるようなことを目標できたらと感じまして、「挑戦」の年にしようと思えます。今、現実的にしようと思っているのは、「畑仕事」です。私は、助祭の時、長崎市内のある教会でお世話になった時、巡回教会にある畑の手伝いをお願いされました。あまり得意ではなかったの

ですが、信者の人たちと一緒にしていくことによって、日々の汗水たらして働くことで食物を得ることに「うれしさ」と「ありがたさ」を感じることもできました。ここ福江でも、信者さんのご協力で畑を借りることができました。まだ、耕していませんが、どんなものを作ろうかと模索しています。教会学校の行事として芋掘りをしようとか、初聖体の準備のために小麦を育てようかななどと考えています。自分にとっては、毎日が「挑戦」の連続になるだろうと感じています。実りあるものとしていけるように精進していきたいと思えます。

司祭として、これからも皆さんとともに歩んでいけるように頑張ってください。いろいろなと足りないところの多い私ですけれども、少しずつ乗り越えていきたいです。つながりこれをこれからも大切にしていこうと思えます。人と人、そして、神と人をつなぐ一つのパイプ役として微力ながらも貢献していけるように。いろいろと抱負をたてましたが、一つでも多く果たしていけるように祈りをささげていきます。

あわせて、今年の皆様の抱負が力強く実現していくことができますように神様に願い、一緒に頑張ってくださいませ。

堅信式 2016



一月十七日(日)十一時より福江教会において、下五島地区合同堅信式が高見大司教様の司式にて執り行われた。

当日は冷たい雨の降る天気であったが、多くの参列者に見守られた中で堅信式ミサは始まった。



受堅者は総勢二十名で、そのうち福江小教区からは成人一名を含む計八名であった。



聖霊の恵みを願う聖歌の後、洗礼の約束の更新が行われ、受堅者は力強い言葉で信仰の誓いを新たにしました。その後、大司教様より聖香油の塗油を授かった。

大司教様は説教の中で、「堅信の秘跡は洗礼の恵みを新たにするものであり、キリスト信者である事とは何か改めて理解するためのものである。」「一人は皆、自分中心の考え方、他人を受け入れない姿勢になりがちであるが、そうした「自分の殻」をイエス様ご自分の死によって打ち破って下さった。分け隔てなく全ての人を、自分を悪く言う人や嫌いな

人も愛するように。」と話された。また、「洗礼を受けたことをよく考え、神様の教えを理解して欲しい。そして、それぞれが与えられた才能を社会の中で、また教会の中でも生かして欲しい。」と期待を込めて話された。

《福江小教区受堅者》

- 佐鋪 悦利
- 松本 光
- 宮崎 幸汰
- 出口 謙也 (成人)
- 梅木 沙彩
- 下崎 香優
- 田端 聖羅
- 田端 夢叶

大司教様へ感謝の言葉

高見大司教様、このたびはとてもし忙しい中にもかかわらず、わたしたちのために堅信の秘跡を授けてくださり、誠にありがとうございます

います。今、うれしい気持ちでいっぱいです。これまで、神様の道を力強く歩むことが出来るよう、神父様やカテキスタの方々から学んできました。教会の中で大人として見られていくことの意味を少しずつかみしめながら生活をしてきました。私たちの父である神様、父のひとり子であるイエス様、わたしたちの心を導いてくださる聖霊への信仰を今までより強くしていきたいと思えます。また、教会のために進んで出来ることを見つけて、行っていくようにしていきます。これから様々なことに出会っていきますが、どんな時にも神様のみ旨は何なのかを考えながら動くことが出来るようにしていきたいと心と心の真ん中に置きます。

最後に、この日の大きな恵みを今日だけのものにせず、これから先、絶えず大切にして生かし続けていくように歩んでいきたいと思えますので、宜しく願います。今日、ともに祈って下さった代父母とすべの皆様にも、ありがとうございます。ご指導して下さい。

今日は本当にありがとうございます。

受堅者代表

福江教会 松本 光

自宅横の小屋を半年ほどかけてほぼ自分で改装したという工房はこじんまりとしたスペースでしたが、数多くのロザリオやミニロザリオ（一連分の珠が連なったもの）、アクセサリーなどが展示されていました。今から約四年前に愛知県から五島



本山孝雄さん 娘さん二人と

福江教会の信徒で、ロザリオ職人の本山孝雄さん（福江教会の広報委員でもあります。）が籠淵町にロザリオ工房兼ギャラリー「Rosary Maria【ロザリーマリア】」をオープンしたと聞き、訪ねました。

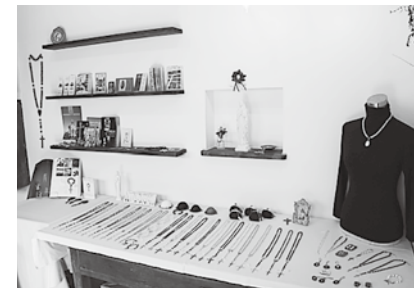


漆喰の白壁がおしゃれな外観。左に見えるスタンドグラスは本山さん手作りとのこと



椿の木のミニロザリオ。雑誌にも紹介されていました。

○小さい頃からものづくりが大好きで、あるときアクセサリー作家である妻の製作作業を手伝ううち、いつの間にかロザリオ作りに魅了されていました。当時は仏教徒でしたが、ロザリオを作るようになってから豊橋のカトリック教会に通うようになり二〇一一年に洗礼の恵みにも授かりました。



に移住したという本山さんに、い

ろいろと聞いてみました。◆ロザリオ制作を行うようになったきっかけは？



色とりどりのロザリオ 写真手前は誕生月のロザリオ

◆五島に移住したのはどういう理由からですか？

○なぜか、漠然とロザリオを作る前から長崎がいいと思ったからです。前々から田舎暮らしに憧れていたこともあり、海の綺麗な離島の五島に惹かれました。ロザリオを通して主に導かれるように五島へやってきました。

◆五島で暮らしてみても、良いことや良くないことはありますか？

○良かったことは、島の皆さんがよそ者の私達家族を優しく受け入れてくれたことと、都会に比べて気を張らずのんびり暮らせるところです。良くないことは特にありません。

◆ロザリオを作るときに大切にしていることや思いなどありますか？

○雑念をなくし、静かな気持ちで心を込めて作ることで。また、日々のお祈りで壊れない



ように太いピンを使用し 丈夫で壊れにくい一生ものロザリオを作っています。

本山さんは写真の通り やさしい表情で、非常にソ

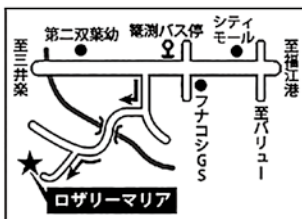
フトな語り口ですが、行動力があり教会内外の様々な活動に参加されている方です。そんな人柄が作品にも反映されている印象でした。ロザリオそのものもメダイにこだわるなど非常に凝った作りで、長く愛用出来ると思います。ぜひ、みなさんも工房を訪ねて作品を「覧」になって下さい。

*** 本山さんよりお知らせ ***

大阪でのロザリオ販売について。2月24日〜3月1日 大阪の阪急うめだ本店『春の九州物産大会』にてロザリオの実演販売を行います。お近くに「ご親戚・ご友人等」がおられましたら、ぜひお知らせください。

ネットショップアドレス：
<http://rosarymaria.com>

※「ロザリーマリア」で検索でもOK。
〒853-0041
長崎県五島市籠淵町 184
電話：080-5106-0309
地図：



※ご来店の際は、不在の場合もありますので事前電話連絡をして頂けましたら助かります。

短歌のご寄稿

福江教会信徒からの案内で、昨年
の七月と九月に教会関連の行事に参
加した片山寛葉（ペンネーム）様よ
りお礼と感謝の気持ちを短歌にして
ご寄稿頂きました。
ありがとうございます。

○「祈りと光の夕べ」

（二〇一五年七月十日）にふれて

『あま名奏』

片山 寛葉

・五島教会尊き歩み（歴史）

讃え行く

「祈りの夕べ」心洗わる

・五島訪ね教会学び生みにける

曲と演奏聴くぞしみじみ

・世界遺産目指し進める教会群

『希望の船出』夢叶え行く

・奏でらる十二曲皆 その心

聴く人捉え拍手ぞ高し

・奏者挙げ五島への愛と教会群

崇む名奏いとぞ素晴らし

・時間余の福江教会解説と

奏者・拍手のみに包まる

○「下五島地区研修会」

（二〇一五年九月十三日）に学びて

『何より平和を』

片山 寛葉

・大司教様の「平和」ぞ感銘す

「真理に正義・愛と自由」ぞ

・信徒のみならず平和を希求する

市民皆への語り素晴らし

・深掘氏語られにける被爆事と

四番崩れの歴史ぞ重し

・浦上の戦争体験踏まえつつ

平和学びの集い身に沁む

・「人間の尊厳・命」大切に

掲げる歩み学びぞ深し

広報委員&記事募集!

広報委員会では、年六回の広報紙「こころ」の発行、「カトリック教報」の配布準備などを行っています。

行事の取材や編集作業などして下さる方を募集しています。初めはわからないこともあるかもしれませんが、慣れると楽しい面もあり教会のことについても少し詳しくなれるかもしれません。一緒に活動してみませんか？ 新聞作成など未経験の方でももちろん構いませんよ！ 広報委員か評議会役員さんに気軽に声をかけて下さい。

また、「こころ」に載せて欲しい情報や委員会の報告など連絡して欲しい事、ご意見、ご要望などありましたら気軽にご相談下さい。皆さんの御協力のもと、紙面の充実を図っていきたいと思います。

よろしくお願い致します！

《寄付・香典返し》御礼

○熊川 スズ子様（井持浦小教区）

故ミカエル 熊川 捷利様

○西里 研一

チト様

故ステファノ 西里 幸盛様

○宮本 信子様

故エリザベット 鍋内 ヂセ様

右記の方から、寄付及び香典返しとしてご芳志を賜りました。

ご報告申し上げますと共に、故人の永遠の安息を心からお祈り申し上げます。



今後の日程

●黙想会の日程

昼の部 3月7日～9日 9時～

夜の部 3月6日～8日 18時半～

講師：神言会 西神父様

●聖週間のミサ予定

3月24日（木） 26日（土） 19時

3月27日（日） 6時、9時

編集後記

広報誌「こころ」も、いよいよ今年度最後の発行になりました。みなさんいかがお過ごしでしょうか。

一月に降った何十年ぶりかの大雪の影響で、例年開催されていた司祭団マラソン大会が中止となつてしまいました。年に一度、懐かしい顔ぶれに会える貴重な機会がなくなり寂しい気分です。来年は無事に開催される事を期待しています。

さて、3月になると小教区評議会の役員人選の時期になります。教会全体の役員・経済問題・地区委員・各委員会・各班長の人選は、みなさんのご協力でもり立っておりますので今後ともよろしくお願い致します。

(E・H)